

宮城120人、岩手  
から100人が受講

### 日合協の技術講習会

日本アスファルト合材協会  
東北連合会（野口秀典会長）  
は、宮城と岩手両県で2024  
年度技術講習会を開いた  
写真。宮城会場（仙台市、ハ  
ーネル仙台）は約120人、  
岩手会場（盛岡市、マリオス）  
は約100人がそれぞれ受講  
した。



23日の宮城会場では、野口  
会長が24年度の合材製造数量  
について「全国、東北ともに  
過去最低を下回りそうだ」と  
の見通しを示した上で、「社  
会資本整備に果たすわれわれ  
の役割は重要で、品質に優れ  
た合材を安定的に供給するた  
めには、一定の発注量が必要  
だ」と強調した。

講習では、同連合会の岩沢  
博秀技術委員（日本道路東北  
支店製造販売課長）が24年度  
に実施した安全衛生環境パト  
ロールの結果を報告したほ  
か、松本大二郎NEXCO総  
合技術研究所道路研究部舗装  
研究担当部長は「NEXCO  
における舗装技術に関する話  
題」、日合協技術部会の加納  
孝志大成ロテック技術本部技  
術企画部長は「舗装再生便覧  
（令和6年版）」の改訂要旨  
を紹介。江向俊文前田道路技  
術本部フェローは「舗装にお  
ける炭素技術」について、最  
新の動向を解説した。

